

インクルーシブ社会へのヒント

アジアと考える アジア・フェロー & アジア・市民交流助成セミナー

2019年 **5月24日[金]** 開場 15:30

国際交流基金 ホール[さくら]

東京都新宿区四谷4-4-1

入場無料(事前申込制) 手話通訳あり 入替制

第1部 16:00~18:00

アジアのろうLGBTQ支援を考える

フィリピンでの活動調査でみえたこと ——— 山本 芙由美

(平成30年度 アジア・フェロー)

第2部 18:30~20:00

ディスレクシアとインクルーシブ教育

——— 認定NPO法人 エッジ

(平成29・30年度 アジア・市民交流助成)

20:00~20:30

トークセッション

モデレーター 太下 義之

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION



国際交流基金アジアセンターは、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を、
3つの助成・フェローシッププログラムを通して支援しています。

今回は「インクルーシブ社会」をキーワードに、「ろうLGBTQ」「ディスレクシア(読み書き困難)」を取り巻く
日本とアジアの取り組みを、アジア・フェロー及び助成採択団体から報告していただきます。

第1部

16:00～18:00

16:00～

「ろうとLGBTQの交差で～フィリピン・マニラ～」上映

17:00～

アジアのろうLGBTQ支援を考える
～フィリピンでの活動調査でみえたこと～

セクシュアルマイノリティ(LGBTQ)の人権については、2015年アメリカ全州で同性婚が合法化されるなど世界的に前進しており、日本でも少しずつ理解が進んでいる。しかし、同性婚は認められておらず、偏見や差別は依然存在している。ろう、かつLGBTQ(以下、ろうLGBTQ)はさらに困難な状況に置かれている中、山本氏は2014年にDeaf LGBTQ Center(大阪市)を設立。2018年12月にアジア・フェローとしてフィリピンでリサーチを行った。アジアで最初に設立されたPinoy Deaf Rainbow(マニラ)等での先進的な取り組みを報告、共有する。

山本 美由美



ろうLGBTQを支援する団体 Deaf LGBTQ Center代表。兵庫教育大学大学院博士前期課程修了。日本財団の支援を得て2015-2017年ギャロデット大学(米国)で、ろうLGBTQ 学を専攻。現在「ろう×LGBTQサポートブック」の発行や講演、原稿執筆、ろうセクシュアルマイノリティ全国大会運営等、幅広く活動。

第2部

18:30～20:00

ディスレクシアとインクルーシブ教育

読み書き困難とも訳されるディスレクシアは、人口の10%程度存在すると言われている。認定NPO法人エッジは、ディスレクシアに関する「正しい認識の普及」と「支援」に関する情報提供等の活動を行っており、ディスレクシアの人たちがいきいきと暮らせる社会を実現するために活動している。海外における当事者・支援者組織とのネットワーク形成も精力的に行っており、社会で活躍するディスレクシアのインタビュー映像を交えつつ、過去2年助成を受けて得られた知見と今後の展望について講演を行う。

認定NPO法人エッジ



藤堂 栄子

認定NPO法人エッジ会長。星槎大学特任教授。
(有)To Do Planning代表。



藤堂 亜美

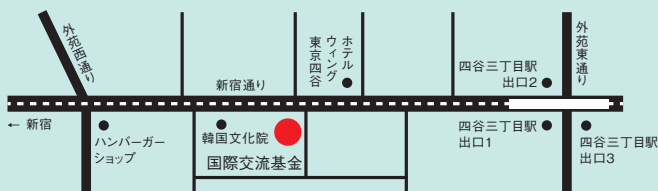
認定NPO法人エッジ企画・コーディネーター。
ディスレクシアの子への英語教師 他。

トークセッション

20:00～20:30

モデレーター
太下 義之

1962年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。専門は文化政策。博士(芸術学)。独立行政法人国立美術館理事、公益社団法人日展理事、東京都芸術文化評議会委員、公益財団法人静岡県舞台芸術センター(SPAC)評議員など文化政策関連の公職・委員を多数兼務。



国際交流基金 東京都新宿区四谷4-4-1 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅から徒歩3分

お申込み/お問合せ

メールの件名を「アジア・フェロー&助成セミナー申込 (1)ろうLGBTQ/(2)ディスレクシア」として、お名前(ふりがな)、ご所属、参加人数、座席の希望の有無を本文にご記入のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。

締切:2019年5月22日[水]

Email: jfac-gf@jpf.go.jp



website:
<https://jfac.jp/culture/>



Facebook:
<https://www.facebook.com/jfasiacenter/>



Twitter:
[@jfasiacenter](https://twitter.com/jfasiacenter)